

# ✓ 戦士

徳島県バレーボール協会中学校専門部便り 秋季42号

## 「全日本中学校バレーボール選手権大会」に参加して

「全国へ」

毎年、新チームになると掲げる目標です。その一步を確実に踏み出せた年もあれば、近づくことさえできなかった年もあります。

今年のチームは小柄な選手がそろっていました。170センチ前後は2人いたものの1人はバレー歴6ヶ月。その2人をのぞくと平均身長は155センチ。どう戦っていこうかと思案しました。個々の力を伸ばすしかない。そう思えば思うほど迷いが生じ、なかなかメンバーが定まりませんでした。しかし、うまくいかず、セッターだったのにアタッカーに変更せざるを得ない3年生もいました。彼女のこの1年は葛藤の連続でした。「私にチャンスをください。」彼女はバレーノートにそう書いてきました。彼女は練習中では笑顔を絶やさなかったし、味方に対する心配りもNo.1でした。自分に与えられた役割としっかり向き合い、1試合の中で一度しかない出番のためにひたむきに練習に取り組みました。今、考えて見ると、全国の舞台でチームが強くなっていったのも彼女のような控え選手が目標を見失わず踏ん張ってくれていたからだと思います。

市の予選で負けてから、歴代のOBが何度も練習に来てくれました。余計なことは何も言わず、練習の中で前をむくことを選手たちに伝えてくれました。そして、県総体では、歴代の保護者もそろって応援に駆け付けてくれました。私は本当の宝物を持っている。そう思ったとき感謝の気持ちでいっぱいになりました。「チーム鳴一」で勝ち取った優勝だと思います。

全国大会出場が決まったときも多くの方々から応援のお言葉をいただきました。会場に行っても、四国の先生方の応援もいただきました。こんなにたくさんの方々に支えられていたのだということを私も選手も保護者も痛感しました。その思いに絶対答えなければ！答えられるのは自分たちしかいない。今の自分だからできる！その思いが、最後にむかっていくチームとして強くしていったのだと思います。全国の舞台で一戦一戦をきっちり戦い切れたのは、これらのことを通し、私だけでなく選手・保護者も感謝の気持ちと謙虚さを本当に持つことができたからだと思っています。

今回、私自身学んだことがたくさんありました。その1つに目標を成し遂げる強さが増えられます。優勝した大阪の金蘭会中学校と対戦したとき、このチームは全国優勝を目標にとにかくこの1年練習してきたのだと感じました。すごい！どんな状況でも気持ちもプレーも全くぶれない。ただひたすら「優勝」を見つめていたように思います。どんな目標であれ、個人・チームとして最後まで成し遂げるその強さを持たせることがこれからの

課題だと思いました。

子どもたち・保護者の方々には本当に感謝しています。全国の舞台へ私を連れて行って  
くれて本当にありがとう。そして銅メダルをありがとう。

そんな子どもたちへ私が望むこと。それは、この栄光に負けない次の1歩を確かに歩む  
こと、そして、人を心から励まし応援できる人になること。子どもたちの成長を楽しみに  
これからも歩いていきます。

最後になりましたが、諸先生方・バレーボール関係者の方々、ご支援いただき本当にあ  
りがとうございました。

鳴門市第一中学校 元木 紀美子

## FINALS 女子 準決勝

金蘭会 (大阪) **2** <sup>25-16</sup> <sub>25-14</sub> **0** 鳴門市一 (徳島)

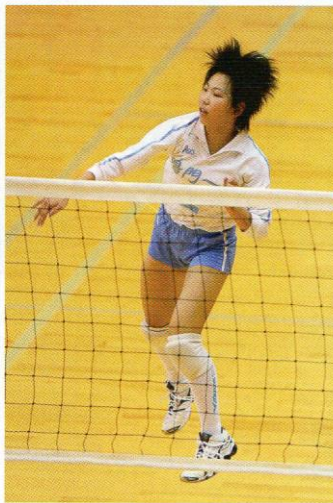
### エースを信じて 全員で戦い抜いた準決勝

エースの吉田を軸に、勝ち上がって  
きた鳴門市一。準決勝の相手は、  
ここまで全試合ストレートで勝ち上  
がってきた金蘭会。吉田のスパイク、  
矢野のサービスエースが決まる場面  
もあった鳴門市一だが、徐々に金蘭  
会の高いブロックがエースの吉田の  
行く手を阻み、1セット目は金蘭会  
が先取る。

2セット目も、出だしから金蘭会  
の勢いは止まらず。何とか突破口を  
開きたい鳴門市一は、トスを分散し、  
金蘭会のブロックを散らそうとする  
が、鉄壁のレシーブに拾われ切り返  
される。「このチームは、吉田を中心  
にやってきたので、吉田の気持を信  
じて、勝負させました」と、元木監  
督が話したように、最後は吉田にボ  
ールを集め、それを全員でカバー。  
懸命に粘りを見せたが、一歩及ばず、  
鳴門市一の中はここで幕を閉じた。  
最後まで果敢に攻めた吉田は「今  
までやってきたことが出せたと思  
うし、このチームでバレーができて  
楽しかったです」と、笑顔で答えた。



チーム一丸となって戦った鳴門市一



マクが厳しい中、スパイクを打ち続けた吉田



吉田萌子  
(鳴門市一/3年/168cm/ミドルブロッカー)

### チームのためにも 笑顔でプレー!

「準決勝では、あまりスパイクを決  
めることができず苦しかったです  
が、みんなには不安な顔を見せて心  
配させないように、笑顔でしようと  
思い頑張りました」。準決勝では金  
蘭会と当たり、高いブロックが吉田  
の前に立ちはだかった。そんな苦し  
い中、笑顔でチームを鼓舞し、最  
後まで果敢に攻め続けた吉田。惜し  
くも決勝戦に進むことはできなかった  
が、「ベスト4になれてよかった」  
と話し、やりきった表情で会場を後  
にした。



徳島

3位

# 鳴門市一

監督 / 元木記美子  
コーチ / 森田百合子

| No. | 選手名   | 学年 | 身長  |
|-----|-------|----|-----|
| ①   | 高岩愛実  | 3  | 156 |
| 2   | 吉田萌子  | 3  | 169 |
| 3   | 橋本彩佳  | 3  | 170 |
| 4   | 宮崎璃珠  | 3  | 156 |
| 5   | 小笠つぐみ | 3  | 157 |
| 6   | 矢野夢々  | 3  | 156 |
| 7   | 岡部悠花  | 3  | 157 |
| 8   | 森 愛実  | 3  | 158 |
| 9   | 大西彩香  | 3  | 157 |
| 10  | 山田満里奈 | 2  | 160 |
| 11  | 松久愛虹  | 2  | 160 |
| 12  | 坂東美咲  | 2  | 155 |
| 13  | 福池咲良  | 2  | 160 |
| 14  | 石黒愛奈  | 2  | 157 |
| 15  | 田中寧音  | 2  | 155 |
| 16  | 宮城璃子  | 2  | 160 |
| 17  | 橋本桃花  | 1  | 162 |



## 鳴門一女子予選突破

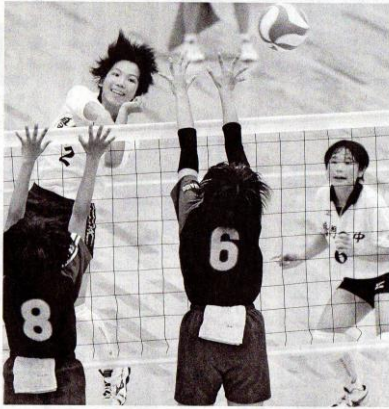
**敗者復活戦 攻守さえる**

【バレーボール】  
（徳島県立真民体育館）  
【女子】予選グループ戦  
鳴門一 2525 2014 O 清原  
長崎 2525 1410 鳴門一  
出 鳴門一は決勝トーナメント進

初戦の聖和女子学院（長崎）戦は、全国舞台の経験からミスが頻出して落ちた。気持ちを切り替えて臨んだ清原（北海道）との敗者復活戦。宮崎のサーブミスなど相手側のレシーブを崩し、エース吉田にボールを集めて得点を重ねた。橋本は高さのあるブロックで相手エースを止め

矢野、森を中心としたメンタルは回戦からの登壇やってきたとの至る強々レシーブ。優勝した場で、沼山理大付（京都）を出し切り、みんながハートを燃やした。高岩は「どっちも顔や抱負を語った。」  
27校で争う決勝トーナメントが相手でも強敵だが3年（岩村純志）

女子予選グループ敗者復活戦・鳴門一対清原 第2セット、鳴門一の吉田がスパイクを決め24とする。高知県立真民体育館（家段良雄撮影）



徳島

# 鳴門一女子 4強入り

**止まらない快進撃**

【女子】決勝トーナメントの回  
鳴門一 2525 2219 2325 1 聖都原  
準々決勝  
鳴門一 2526 1724 O 山崎玉

【バレーボール】  
（南市立こほか）

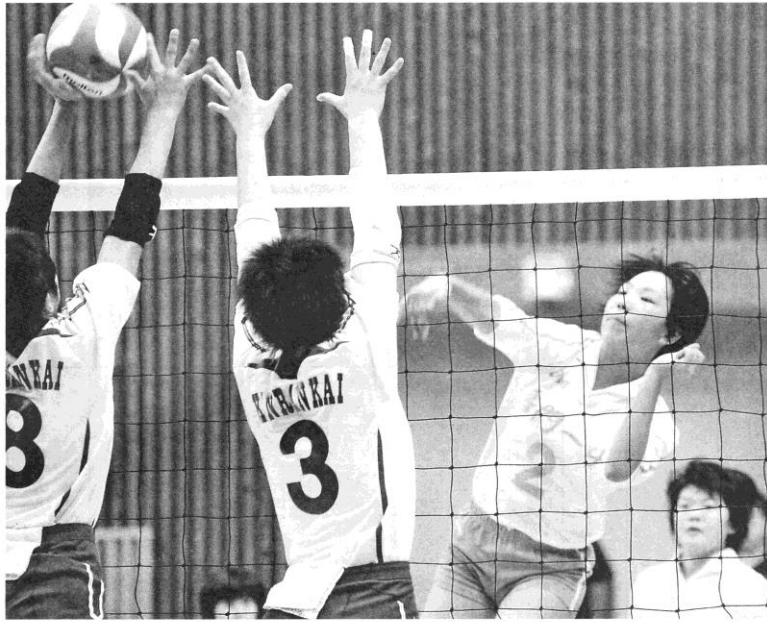
鳴門一女子の快進撃がと手こたえを口にした。止まらない。元木監督は「二人一人が自分の役割を果たし、これまでで最高の力を発揮している」

決勝トーナメント1試合目の聖都原（京都）戦はサーブでコースを狙いすぎ、第1セットを落とさ

た。サーブを修正して勢いを取り戻すと、エース吉田と対角の橋本がボールを集めて2セットを連続し逆転勝ちした。鳴門市予選は3位。県総体ではフルセットの末に栄冠を手にし、四国女王に上り詰めた。吉田は「みんながつないでくれたボールを一本でも多く決める。絶対に最後まで諦めない」。準決勝も気がフケイトを決め、小金蘭会（大阪）に挑む。（岩村純志）

鳴門アミノバリュウホールで行われた

# 鳴門一女子健闘3位



女子準決勝・鳴門一対金蘭会 第1セット、鳴門一の吉田がスパイクを打ち込む。高知県南国市立スポーツセンター

## 終始劣勢も強気のプレー

全国トップの壁は厚く、優勝した金蘭会に敗れた鳴門一女子。準決勝進出の原動力となったアタックは高いブロックに阻まれ、持ち味のレシーブでも強烈的なスパイクを拾いきれなかった。終始劣勢を強いられながら、選手たちは逃げなかつた。「みんながつないでくれたボール。フエントは警戒されているし、弱気を見せるわけにはいかない」。エース吉田は2枚ブロックを打ち抜くうち、強打を連発した。セッター高岩主将の多彩なトス回しで、ライトや中央からもスパイクを繰り出した。思うように得点に結びつかなかつたものの、立ち向かう勇氣は仲間にも伝わった。

第2セットは0-11まで引き離される苦しい展開から、一丸とな

つて粘った。リベロの森は必死に体を投げだし、170センチの橋本はブロックに飛んだ。チーム一小柄な矢野はコースを突いてサーブを決めた。全中に向けて磨いてきた武器を、最強の相手にぶつけた。

鳴門市総体2位から四国女王となり、全中では敗者復活戦からは上がったチームの快進撃は終わった。3位入賞は県勢最高成績で、過去4度しかない偉業。「精いっぱい戦った。恥じることはない。あんたたちやけん、ここまで来れたんだよ」。元木監督の言葉に全員が泣いた。

「このチームでもつとボールを拾って、つないで、打ち込みたかった」と高岩主将。涙で頬は濡れたが、努力でつかんだ銅メダルは胸にキラリと輝いた。

(川辺健太・写真)

バレーボール (南国市立)

|         |         |      |      |     |
|---------|---------|------|------|-----|
| 【女子】準決勝 | 金蘭会 2   | 2525 | 1416 | 鳴門一 |
| ▽決勝     | 大阪 2    | 2525 | 1110 | 徳島  |
| 金蘭会 2   | 2525    | 1720 | 0    | 花   |
| 【男子】決勝  | 金蘭会 初優勝 |      |      |     |
| 湘江 2    | 2525    | 1515 | 1    | 長崎  |
| 東京 2    | 2525    | 1718 | 25   | 1   |
| 湘江 初優勝  |         |      |      |     |

北海道・東北で開かれる。



# 四国中学校 総合体育大会

第2日

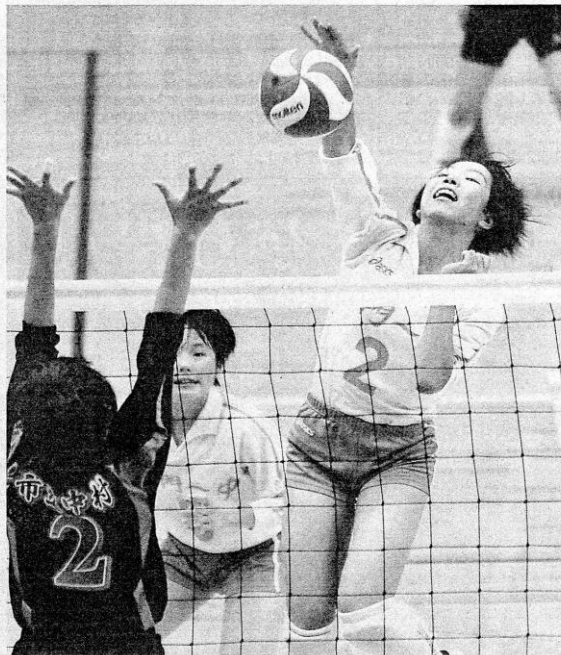
第52回四国中学校総合体育大会第2日は3日、12競技が行われた。バレーボール女子の鳴門一が27年ぶり3度目の栄冠に輝き、全国中学校体育大会(全中)出場権を獲得した。卓球男子の城東、剣道男子の阿南一が準優勝。テニス男子の国府は2位に入り、全国中学生選手権出場を決めた。卓球女子個人シングルスは大川千尋(富田)、体操男子個人総合は酒巻宏行(鳴

門一)が頂点に立った。柔道個人男子は50kg級・横田将也(鳴門一)66kg級・松村浩太郎(石井)90kg超級・三好大成(上板)が優勝した。水泳の女子200m個人メドレーで新野杏奈(川内)が2分20秒14の大会新をマークし1位になった。軟式野球、サッカー、ソフトボールは雨で中止となった。大会第3日の4日は6競技があり、徳島県では軟式野球が行われる。

# 鳴門一 27年ぶり栄冠 女子

バレーボール

【南国市立スポーツセンター】2-1三末(香川)、城西・紫 決勝 横濱1-0城西・北北  
【男子準決勝】横濱(高知) 北(愛媛) 2-1瀧瀬(香川) 横濱は初優勝。



女子準決勝・鳴門一対中村 第2セット、鳴門一の吉田香がスパイクを決める＝南国市立スポーツセンター体育館

## 1年越しのリベンジ

昨年は四国総体準決勝 続8度目の優勝を目指す  
で涙をのんだ鳴門一女子 香川一。昨年の準決勝で  
が念願の全中切符を獲得 鳴門一の前に立ちまかせ  
するともに、1年越し った強豪相手に選手たち  
のリベンジを果たして全 は燃えた。  
国出場に花を添えた。 エース吉田が分厚いブ  
準決勝で中村一(高知) ロックをもとめせず、  
位)に2-1と競り勝っ 打点の高いスパイクを次  
て全中出場を決め、決勝 々打ち込み、チーム最  
の相手は四国総体2年連 多得点をマーク。対角の  
選手権でも決勝に進め

ず、選手たちは早期練習  
の前に自主的に学校のト  
イシや玄関を掃除した。  
元木監督は「当たり前の  
ことをきちんとやるこ  
とを徹底した。これでチ  
ームが生まれ変わった。劣  
勢でも焦らずプレーでき  
る強さを身に付けた。  
四国女王は実に27年ぶ  
り。高岩主将は「全中で  
も自分たちのバレーを貫  
き、ベスト8を目指す」  
と誓った。(岩村純志)

【女子準決勝】  
鳴門一 2 2525 16  
2525 1922225 1 高知村  
香川一 2 2525 1313 0 南部  
▽決勝  
鳴門一 2 2525 2119 0 香川一  
鳴門一は27年ぶり3度目の優  
勝

【バスケットボール】  
(高松市総合体育館)  
【男子】1回戦 久米(愛媛)  
20-0 兼山(高知)、香東(香  
川) 67-47 瀧瀬(高知)  
綾山 43 6 26  
香川 8 3 6 26  
9 13 3 13  
徳島 38 羽ノ浦  
愛内 19 16 14 20  
高 69 徳島 万  
愛 3 11 5 10  
29 八  
【女子】1回戦 新宮東(愛  
媛) 58-52 徳島(高知)、勝山  
(愛媛) 69 37 丸亀(香川)  
小松島(徳島) 20-0 北陵(高知)  
丸亀西 70  
1229 15 14  
25 9 14 11  
59 鳴門二

【バドミントン】  
(愛媛県東条市総合体育館)  
【男子】シングルス準決勝  
池田(香川) 玉野 2-1 小敷  
北(高知) 愛媛 1 勝山 2-1  
0 岡(城東) 決勝 瀧瀬(愛媛)  
・重徳 2-0 楠  
▽ダブルス準決勝 赤野・伏

## 鳴門一・南部準決勝に進出 女子

バレーボール

|                      |                      |
|----------------------|----------------------|
| 【南国市立スポーツセンター】       | 香川 2 2525 1721 0 南部  |
| 【男子】1回戦 三末(香川)       | 香川 2 2525 1721 0 徳島  |
| 2-1 雄新(愛媛)、城西・北北     | 【女子】1回戦 中村(高知)       |
| 北(愛媛) 2-1 野市(高知)     | 2-1 小野(愛媛)、香川 2-1    |
| 1 大方(高知)             | 1 大方(高知)             |
| 鳴門一 2 2525 1021 0 白鳥 | 鳴門一 2 2525 1021 0 香川 |
| 徳島 2 2527 24 1 松山東雲  | 徳島 2 2527 24 1 松山東雲  |
| 2325 26 1 愛媛         | 2325 26 1 愛媛         |
| 横濱 2 2525 1119 0 徳島  | 横濱 2 2525 1119 0 徳島  |
| 高知 2 2525 1119 0 徳島  | 高知 2 2525 1119 0 徳島  |